

## 図書館利用者と南田中図書館長との懇談会

- 1 日時 令和元年 11 月 4 日(月・祝) 13 時 30 分～15 時
- 2 場所 南田中図書館 2 階 会議室
- 3 出席者 利用者 14 名  
図書館 3 名  
(南田中図書館長、館長代理 2 名)
- 4 テーマ 「南田中図書館に期待する図書館サービスとは」
- 5 配布資料 (1)南田中図書館の概要(レジュメ)  
(2)図書館だより最新号
- 6 次第 (1)南田中図書館長挨拶  
(2)図書館職員紹介  
(3)図書館概要説明  
(4)懇談  
(5)南田中図書館長挨拶

### 図書館利用者と南田中図書館長との懇談会 会議録

#### 1 南田中図書館長挨拶

本日はお忙しい中、南田中図書館の懇談会にお越しいただきありがとうございます。南田中図書館長でございます。

まず、この会の趣旨についてですが、練馬区の図書館全館で 10 月 27 日から 11 月 9 日の間で各館の館長が主催する懇談会を行うことで、皆様の地域のご意見やご要望を伺い、図書館で協議しまして、ホームページ等で改めて皆様にお伝えするものとなっております。今回は南田中図書館に期待する図書館サービスとはというテーマですので、館独自で答えられないような、区立図書館全体に関する事についてはお答え出来ない場合があります。その際は、統括しています光が丘図書館と調整して、ホームページで回答させていただく予定です。また、よろしければ 11 月 9 日に行われます光が丘図書館での懇談会にご参加ください。よろしく願いいたします。

#### 2 図書館職員紹介

館長代理 2 名

#### 3 事業紹介等

- (1) 教育要覧に基づく練馬区立南田中図書館事業等の紹介  
ア 南田中図書館の施設概要

イ 利用状況等、過去三年間利用統計推移

(2) 事業紹介

ア 南田中図書館のめざすこと1 「ご近所図書館」

イ 南田中図書館のめざすこと2 「テーマは環境」

ウ 南田中図書館のめざすこと3 「学校支援」

エ その他の事業

10周年記念事業

(3) 南田中図書館の目指す重要事項

#### 4 懇談

**利用者** 三年間利用者統計を見ると利用者数が減少しているようですが、原因は何でしょう。

**図書館** はっきりとした原因は分かりません。地域の方に足を運んで頂けるように努力する必要があると考えています。

**利用者** 図書館を利用して感じるのは、南田中図書館だけでなく10年前と比べて図書館と関わる人が増えて、指定管理も増えたというのものもあるかもですが、色々な年代の方が図書館を生活の一部として利用する方が増えている印象があり、減少傾向というデータは意外です。南田中図書館では利用者層としてはどのような方の利用が多いのですか。

**図書館** 年齢層としては高齢の方が一番多く、未就学児童とその保護者も多く見られます。青少年、20代の利用者数が少ないので、その点は課題かと思います。

**利用者** 南田中小学校が隣接しているので小学生の利用はどうですか。

**図書館** 小学生の利用も多いです。

**利用者** 受取窓口を利用したり、ネットで調べたり出来るようになったので、私も図書館に行かずにネットで調べて借りる事は多いのですが、そうすると来館者が減るのは分かりますが、登録しないと利用できないので登録者なども減っているのはよく分からない。お子さん連れの方はお子さんはカウントされないのですか。来館者のカウントの方法はどのようにしていますか。

**図書館** 来館者のカウントはゲートを通過した延べ人数で行っているのですが、小さなお子さんも保護者と一緒に来館してもカウントはされます。受取窓口は6ヶ所に増えており、来館者数減少に全く影響がないとは言えないと思います。

**利用者** 練馬区は人口が増えていますよね。こちらも期待されるんじゃないですか。

**図書館** 若い世代の方の中には図書館が近くにあることを知らなかったという方や、図書館を使うという発想がそもそもないといった方もいるようで、新しく練馬区に引っ越しされてきた方に対して、まずは図書館の存在を知っていただく工夫が必要だと思っています。

- 利用者**      こちらは環境が良い反面、周りに何もなくやや不便。近くにカフェなど軽く食事できる場所があると利用も増えるのではないのでしょうか。
- 図書館**      周辺地域のことは図書館単独で解決するのは難しいですが、地域の方と一緒に考えていく必要があると思います。
- 利用者**      実際に来ると図書館のイベントがチラシ等で具体的に分かって、やはり来ないとだめだなと感じます。何をやっているかはネットにも出ていますか。
- 図書館**      図書館ホームページに情報はアップしていますのでホームページからご確認ください。
- 利用者**      イベントのチラシは関連施設にもおいていますよね。1か月前から出せるはずなのに、関連施設での掲示・配布が遅いように思います。どこにも見当たらない事もある。一緒にイベントを進めている側としてはこちらも色々動いてはいますが、他の方々関わっているイベントはやるという事は聞いているけれど、いつから募集しているのかも分からない。チラシの関連施設への配布はどのように行っているのでしょうか。
- 図書館**      すべてのイベント広報を関連施設全てに行っているわけではありませんが、広く周知するものに関して、区報への掲載や関連施設へのチラシの配布依頼を適宜実施しています。ただ、関連施設でのチラシの掲示や配布については、1か月前にチラシをお渡ししていますが、取り扱いは各施設にお任せしている状況です。また、館内では、各図書館で他の図書館のイベントに関するチラシも掲示しています。イベントに参加される方に、どこでイベントをお知りになったかというアンケートを取ると、館内のポスターを見たという方が一番多く、次にホームページを見た、他の図書館で案内を見たという方が多いようです。やはり、皆さんも図書館の情報は来館して得るといえることが多いですか。
- 利用者**      図書館は情報源として頼りにしています。なるべく早めに情報を出していただけると助かります。
- 図書館**      図書館のイベントについては実施日の1か月前を目安として広報しています。
- 利用者**      図書館の存在を知らない人もいるという話がありましたが、ここは駅からも離れているし、住宅地の中だし、図書館があるという事が分かりにくいと思います。その為に氷川神社での井のいち等、地域のイベントで図書館をアピールしているのかなと思うのですが、その効果はどうですか。また、他に取り組んでいることはありますか。
- 図書館**      井のいち等ではお祭りの一区画を使っておはなし会を実施していますが、毎回盛況となっています。氷川神社自体が石神井図書館の隣ですので、石神井図書館を利用しているという方も多くいらっしゃるようですが、南田中図書館の存在もアピールしています。その後、多いとは言えないかもしれませんが、南田中図書館まで足を運んでいただける方もいらっしゃるようです。小・中学生

に関しては、学校支援という形で週に2日支援員が関わっている事で図書館の  
アピールも出来ているかと思いますが、高校生以上、若年層へのアピールは今  
後も考えなくてはいけない課題であると考えています。

**利用者** 学校支援事業についてもう少し具体的に教えてください。

**図書館** 学校支援員が責任者を含めて5名おり、レジユメにも記載しているように、  
各支援員が担当校を持ち、実際に学校へ足を運び、学校図書館の整理や授業で  
のおはなし会、ブックトーク等を実施しています。図書館を使った授業の際に  
先生のお手伝いをしたり、学級文庫の本を選ぶことも行っています。図書館の  
使い方を学ぶという授業の一環で、実際に来館して図書館を利用してもらうと  
いった事業も、学校支援での繋がりがあからこそのものであると思います。

**利用者** 例えば図書館でやるイベントを、今度こういうのが図書館であるよと生徒に  
伝えたりという事はしていないのですか。

**図書館** 学校支援はイベント広報を目的としているものではありませんが、図書館だ  
よりやチラシを図書室に持って行って掲示をする事は行っています。

**利用者** 子ども達の参加が少ないというのは知らないからと考えられますし、子どもの  
参加を増やすのが難しいというのは分かるのですが、積極的に知らせるようにし  
たら良いのではないかと考えます。

**図書館** どの程度声掛けをしているかは支援員に改めて確認しますが、学校との関わり  
についてもっと積極的にできないかは考えていきたいと思います。

**利用者** 学校の取り組みとして地域と積極的に関わろうという方針があります。こち  
らからだけでなく、学校側からも積極的に一緒にやろうという方針もあるの  
で、双方の担当が垣根を越えてやってほしいと思います。

**図書館** 学校との関わりは今後も積極的に関わられるよう努めたいと思います。

**利用者** 支援員の方というのはそれ専門にやられているのですか。

**図書館** 在籍自体は図書館ですが、公共図書館スタッフとは別の職種として、学校支  
援を専門に行っています。

**利用者** 図書館スタッフとの関わりはあまりないのですか。

**図書館** 学校図書館での業務が終わったら図書館へ戻ってきて、次の支援の準備を行  
っており、資料の相談をする等日常的に交流はあります。

**利用者** 学校支援モデル事業は10年前は週5日でした、全校配置の為、現在は週2  
日の1日6時間となっており、全校生徒一人一人にサービスを提供するには時  
間が足りないと思います。対応するためどのように工夫されていますか。

**図書館** 時間をこれ以上増やすのはなかなか難しい部分もありますので、学校の図書担  
当の先生と連携を深め、学校の先生が行う部分と図書館の専門的な知識を持った  
支援員が担当する部分を、協力して効率化を進めています

**利用者** そうなると生徒一人一人へのサービスというのはできていないのですか。

- 図書館** 一人一人を見るつもりで支援員も仕事をしています。
- 利用者** 責任者の方も現場に立つ事はあるのですか。
- 図書館** 統括責任者は基本的に巡回をして各支援員のサポートに入っていますが、おはなし会など一緒に実施をすることもあります。
- 利用者** 支援員の方は一人で担当を2校持っていることになりますか。
- 図書館** 2校を担当している支援員と、勤務日数の関係で1校のみを担当している支援員もおります。
- 利用者** 図書館に期待してばかりではいけないのかなと思っています。利用が少ないとされる青少年の層をどうやって取り込むのかは図書館だけの問題ではなく、図書館に関わる私たちが一緒になって取り組むべき課題ではないでしょうか。図書館に期待するだけではなく、共に考えることが大切だと思います。SNSの活用等、南田中図書館としてはやりたいができていないことを、私たちはどのくらいして良いのでしょうか。例えば、実施の報告や1か月前からのイベント告知を、団体側のホームページで早く掲載するというようなことは可能なのでしょうか。
- 図書館** イベントの実施報告は利用者の顔が映らないよう配慮した上で、掲載しています。イベント告知については、募集開始だけ図書館と合わせていただければ、早めに告知してもかまいません。
- 利用者** 長い目で見て、南田中図書館と一緒にイベントを実施するところで広報をしていく事では、図書館だけにどうこうという話ではなく、我々事業者もどう広報するのかを考えて、図書館にただお願いしますというだけの関係性では無くなっているのではないかと考えています。
- 図書館** 皆さんにはご協力をいただき大変心強いです。図書館としても既存の型だけではなく、新しいやり方を取り込めるよう、イベントの開催日時等も、最近ではお子さんも塾など時間が無い中でこういった日時であれば参加しやすいか等、今後さらに工夫をしていきたいと思えます。
- 利用者** 遅い時間帯のイベントはありますか。
- 図書館** 一般向けのイベントとしては日中に行っており、夜間の開催はありません。ユースサポーターについてのみ、対象が中高生を対象としており、土曜日の夕方に活動しています。
- 利用者** 10周年記念事業のノンストップおはなし会の詳細を教えてください。
- 図書館** 11月10日（日）2階会議室にて、各年齢層向けの読み聞かせや、利用者の中から演者を募集しておはなし会などを予定していて、一日通しておはなし会を実施するイベントとなっています。
- 利用者** 3月の10周年イベントはどういったものですか。
- 図書館** 日程はまだ未定ですが、10周年事業の締めとして、南田中図書館開館当初の話をさせていただく講演会を予定しております。

- 利用者** 図書館機能とイベントとの関係はそもそもどうなっているのでしょうか。イベントは何のために行っているんですか。
- 図書館** 貸出促進や、図書館の存在を知ってもらうなど、図書館としての機能を補助するものとして、各種イベントを実施しています。
- 利用者** 登録者数が減少しているというのは一番の問題だと思う。図書館の立地的に放っておいても利用者は増えないでしょうし、ここをどうしていくかを考えなくてはいけないのではないのでしょうか。
- 図書館** 数字的にも減少しているという現状があり、新規の利用者をどう獲得するのかは、この場で具体的な解決策をすぐに出せないのは申し訳ありませんが、今後の課題として考えていかなくてはならないと思います。
- 利用者** これからの時代、若い人の本との関わり方は変わってきて、スマートフォンで読めるし、安くで読めるし、本を買ってもすぐに売ることが出来るので割りとすぐに本を買っていて、本の読み方が変わっているという事を考えていかないといけないのではないのでしょうか。
- 図書館** おっしゃる通り、電子図書の普及や手軽に本を購入できる環境というのはあり、特に若年層ではそちらの方を好む方も多くいらっしゃると思います。電子図書については図書館でも取り入れていく事も大事かと思いますが、中には紙の本が良いという方もいらっしゃいますし、本を利用者しない、読まないという方に対しても図書館が交流の場として存在するのは大事なのかなと考えています。図書館が必ずしも本を利用する場としてだけでなく、子育て交流会のような、同じ悩みを持った方が集まる場、同じ境遇の方が交流する場として、利用者の様々なニーズに応じたイベントを実施する等、図書館の在り方を考えていくことも大事にしたいと思っています。
- 利用者** 先日初めて会議室を利用して映画会を実施させていただきました。非常に好評で、今後もそのような形で利用させていただきたいと思います。
- 図書館** ありがとうございます。会議室は、団体の方に貸出しが可能で、団体でのイベントを実施していただく事も可能です。
- 利用者** 図書館で調べものをするときに、貸出をせずに館内で読むことも多いと思うのですが、その数は貸出冊数にカウントされないのでしょうか。
- 図書館** 館内での利用の本をカウントするのは、その術がないので貸出数には反映されていません。
- 利用者** 館内閲覧まで含めれば利用者数はもっと多いのではないかと思います。その部分のカウントは難しいのでしょうか。
- 図書館** 閲覧席は普段から多く利用されている状況ですが、利用者の方の資料の利用を貸出以外でカウントするのは難しいです。貸出以外の利用を可視化する事は、利用者の方がどのように図書館を利用しているのかを知る事にも繋がりますし、

ご意見として承りたいと思います。

**利用者** 児童館では乳幼児の保護者の方が日中多く利用されていますが、ご意見として日曜日もやっていないんですかと聞かれるのですが開館していません。地域の乳幼児をお持ちの親御さん達は外に出たい、日曜祝日もどこかに出かけたいという気持ちでいらっしゃいます、図書館は日曜祝日も開館しています。乳幼児を持つ親御さんにフォーカスしたイベントを日曜祝日にも実施すればニーズはあるのではないかと思います。また、お礼を申し上げたいのですが、児童館には学童クラブも併設していますが、学童クラブの時間は6時までです。お迎えが間に合わない親御さんがいらっしゃいます。そんな時、隣の図書館で待っていてほしいと待ち合わせの場所になっています。公共の施設で夜遅くまで空いているのはありがたく、保護者との待ち合わせの場として温かく見守っていただきたいと思います。

**図書館** 今まで乳幼児向けのイベントは平日が多かったのですが、日曜・祝日の実施については今後の参考にさせていただきたいと思います。

**利用者** 10周年記念事業の劇団プークの講演は、写真を見ると南田中図書館での開催ではないように見えますがどこで行ったのでしょうか。

**図書館** 南田中小学校体育館です。参加人数の多いイベントは隣接している南田中小学校の体育館をお借りして実施をすることもあります。

**利用者** そうすると、南田中図書館でなくても、違う施設でイベントを行う事があるのですか。

**図書館** 南田中図書館主催のイベントで他の施設での開催は南田中小学校の体育館での実施のみとなります。他の施設でおはなし会を実施する事もありますが、その場合はその施設の利用者を対象としたもので、広く一般の方向けのイベントは図書館内か南田中小学校の体育館で実施をしています。

**利用者** そういう意味では南田中小学校とも連携が取れているという事ですね。歴史講座で外に出ているようですが、外でイベントを実施する事も可能なのでしょうか。

**図書館** まち歩きなど外に出るイベントも実施はしています。

**利用者** 昨年、私たちのイベントでセミの羽化を見るイベントとして、夕方外に出る事を考えていたが出来ないとの事でした。外に出る事や子どもがいることに関して規制が多いように感じるのですがどうでしょう。

**図書館** イベント内容によっては外出することも可能ですが、すべてのイベントについて安全性等の観点から外出可能とは申し上げにくいです。特にお子様が多いイベントですと配置できるスタッフが限られているので実施が難しいこともあるかと思えます。

**利用者** 判断は、南田中図書館がしているのか、光が丘図書館がしているのか、どうなのでしょう。

**図書館** 当館として難しいと判断する事もありますし、光が丘図書館で内容の精査をして欲しいと言われることもありますので一概にはお答えが難しいです。

**利用者** 環境をテーマにしている館なので、座学ではなく外に出て実施をしたいイベントもあるので、全く出来ないという事ではなく、解決策を考えていただけるとありがたい。

**図書館** 確認をしておきます。

**利用者** どうしても先生方からしてみると、座学ではなく実際に外で体で感じてほしいという思いがあるようで、今後広げていくためにはどうしても外に出たいという要望は企画するうえであるので、今後考えていただきたいです。

**図書館** その点については図書館として何ができるかを模索したいと思います。

## 5 南田中図書館長挨拶

以上を持ちまして懇談会は終了とさせていただきます。皆様貴重なご意見を出していただきありがとうございました。